

春の叙勲・危険業務従事者叙勲 市内から多くの方が受章

永年にわたる職務に対する功労や社会貢献をたたえる春の叙勲、永年にわたって危険性の高い公務に携わり、社会に貢献された功績をたたえる危険業務従事者叙勲の受

章者が発表されました。

今回の受章をお祝い申し上げますとともに、ますますのご活躍をお祈りいたします。



瑞宝単光章
瑞宝単光章

防衛功労

山口氏は、昭和43年に海上自衛隊に入隊、鹿屋航空基地（鹿児島県）で飛行教育終了後、八戸航空基地（青森県）、下総航空基地（千葉県）などに配属され、平成16年2月に退職されるまで、永きにわたり、国防の職責を全うされました。

山口氏は、哨戒機の搭乗員として、経済水域および領海の警戒監視、遭難船の捜索、流水観測など多くの任務に従事し、後年は、搭乗員、整備員教育に尽力されました。

【受章者の声】

このたびの受章は大変光栄に

思っております。防衛省海上幕僚長をはじめ、海上自衛隊の先輩、後輩多くの皆様方のお陰であり、厚くお礼申し上げます。そして不安の多い勤務の中で支えてくれた家族に感謝しています。



瑞宝単光章
瑞宝単光章

防衛功労

蛸原氏は、昭和44年に海上自衛隊に入隊、護衛艦「しきなみ」に配属。その後、護衛艦「ゆうぐれ」、輸送艦「しれとこ」、練習艦「かとり」、駆潜艇「きじ」、下総航空基地隊などに配属され、平成16年3月に退職されるまで、永きにわたり、国防の職

責を全うされました。同氏は、艦艇勤務時は、砲術関係の職務を、航空基地勤務においては、航空機事故に備える航空消防の任務に従事したほか、輸送艦「しれとこ」配属時には、沖縄返還に際し、日本通貨を沖縄まで輸送するという任

【受章者の声】

務に従事されました。このたびの受章は大変光栄に、またうれしく思っております。これも海上自衛隊の先輩のご指導および同僚、後輩の協力によるものであり、とても感謝しています。



旭日小綬章
旭日小綬章

地方自治功労

飯島善氏

（小張）

80歳

元つくばみらい市長

飯島氏は、旧伊奈町役場職員を経て、昭和62年に旧伊奈町議会議員に当選、平成2年には伊奈町長に就任し、4期16年、平成18年5月からは、初代つくばみらい市長として1期4年、平成22年5月に勇退されるまで、永きにわたり、郷土の発展に尽力されました。

その間、つくばエクスプレスの開通とその沿線開発、合併により誕生したつくばみらい市の市政施行と、広範にわたる知識と確固たる政治信念をもって、今日のつくばみらい市の基礎を築かれました。

【受章者の声】

このたびの受章は、私一人が

受章したのではなく、市民職員の方を代表していただいたと思っております。皆様のご理解、ご支援心より深く感謝しております。また、家庭を任せきりにしたにもかかわらず、自分の健康を気遣ってくれた家族に感謝しています。